Nikon

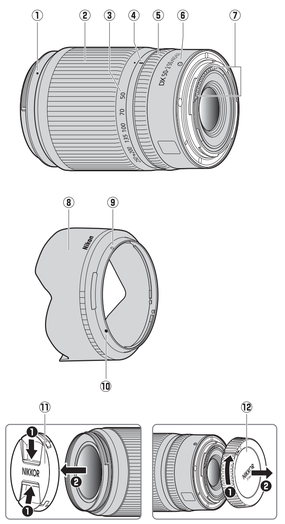
NIKKOR

NIKKOR Z DX 50-250mm f/4.5-6.3 VR

Jp 使用説明書
En User's Manual
Fr Manuel d'utilisation
Sc 使用说明书
Es Manual del usuario
Kr 사용설명서

Printed in Thailand
7MMA1864-02 △

NIKON CORPORATION



Jp 使用説明書

ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、カメラの説明書も ご覧ください。

- このレンズは、ニコン Z マウントのミラーレスカメラ専用です。
- このレンズを Z 7 または Z 6 でお使いの場合は、カメラのファームウェアを最新版にバージョンアップしてください。ファームウェアが最新になっていない場合、レンズを正しく認識しなかったり、手ブレ補正機能などが一部の機能が使用できないことがあります。最新のファームウェアは、ニコンダウンロードセンターからダウンロードできます。

安全上のご注意

あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
この説明書をお読みになった後は、いつでも参照できるように保管してください。

⚠ **警告**「死にまたは重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ **注意**「軽傷を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

お守りいただく内容を、以下の図記号で区分しています。

⃠ **は、してはいけない内容です。**
❗ **は、実行しなければならない内容です。**

⚠ 警告

分解禁止 **分解、修理または改造をしない**
落下などによる破損で内部が露出したら、露出部に触らない
感電やけがの原因になります。

実行 **熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、直ちにカメラの電源を取り外す**
放置すると、発火、やけどの原因になります。

禁止 **水でぬらさない**
ぬれた手で触らない
感電や発火の原因になります。

禁止 **引火、爆発のおそれのある場所では使わない**
プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使うと、爆発や火災の原因になります。

禁止 **レンズで直接太陽や強い光を見ない**
失明や視力障害の原因になります。

禁止 **幼児の手の届くところに置かない**
故障やけがの原因になります。
小さな付属品を誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。

禁止 **高温環境や低温環境では、直接触らない**
やけどや低温やけど、凍傷の原因になることがあります。

⚠ 注意

禁止 **レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない**
集光して、内部部品の破損や発火の原因になることがあります。逆光撮影では、太陽を画角から十分に遠ざけてください。画角から太陽をわずかに外しても、発火の原因になります。

禁止 **夏場の車内や直射日光の当たる所など高温環境に放置しない**
故障や発火の原因になります。

禁止 **三脚などにカメラやレンズを取り付けたまま移動しない**
故障やけがの原因になります。

レンズの使い方

各部の名称と機能

左図で示されている各部の名称と機能は以下の通りです。

① フード着脱指標	レンズにフードを取り付けるときの指標です。	詳しくは ➡ Ⓒ
② ズームリング	このリングを回転させるとズーミングができます。 ・撮影前にレンズを繰り出してください。	詳しくは ➡ Ⓐ
③ 焦点距離目盛	ズーミング時の焦点距離の目安として使用します。	—
④ 焦点距離目盛指標		—
⑤ コントロールリング	**オートフォーカス時** このリングを回転させると、[フォーカス（M/A）] や［絞り］などカメラで設定した機能を使用できます。詳しくは、カメラの説明書に記載されている［カスタムボタンの機能］または［カスタムボタンの機能（撮影）］の説明をご覧ください。 **マニュアルフォーカス時** このリングを回転させると手動でピント合わせができます。	詳しくは ➡ Ⓐ
⑥ レンズ着脱指標	カメラにレンズを取り付けるときの指標です。	詳しくは ➡ Ⓒ
⑦ CPU 信号接点	カメラとレンズの間で情報を伝達します。	—
⑧ フード※	画像に悪影響を及ぼす光線をカットします。レンズ面の保護にも役立ちます。	詳しくは ➡ Ⓒ
⑨ フードセット指標	レンズにフードを取り付けるときの指標です。	
⑩ フード取り付け指標		
⑪ レンズキャップ	—	—
⑫ 裏ぶた	—	—

※フードは別売です。

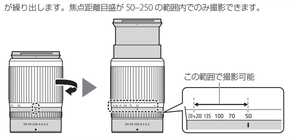
Ⓐ カメラへの取り付け方・取り外し方

取り付け方
1. カメラの電源を OFF にして、レンズの裏ぶたとカメラのボディーキャップを外す
2. カメラとレンズのレンズ着脱指標を合わせ、反時計回りにカチッと音がするまでレンズを回す

取り外し方
1. カメラの電源を OFF にする
2. レンズ取り外しボタンを押しながら、時計回りにレンズを回して取り外す

Ⓑ 撮影前の準備

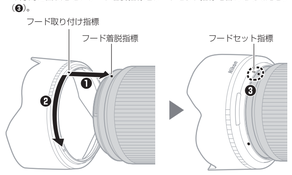
このレンズは沈胴機構を採用しており、撮影するにはレンズを繰り出す必要があります。ズームリングを矢印の方向にカチッと音がするまで回すと、レンズが繰り出します。焦点距離目盛が 50–250 の範囲内でのみ撮影できます。



- レンズを収納するときは、レンズを繰り出すときと逆の方向に（●）の位置までズームリングを回してください。
- レンズを繰り出すと電源を ON にすると、警告メッセージが表示されます。撮影するときはレンズを繰り出してください。

Ⓒ フード（別売）の取り付け方・取り外し方

- フード着脱指標とフード取り付け指標を合わせて（❶）、フードを矢印（❷）の方向に回転させ、フード着脱指標とフードセット指標を合わせてください（❸）。



- フード先端を強くつかむと着脱が困難になります。着脱の際は、フード取り付け指標（●）付近を持って回転させてください。
- 取り外しは、取り付けと逆の手順で行ってください。
- 収納時はフードを逆向きにしてレンズに取り付けられます。

内蔵フラッシュ搭載のカメラでフラッシュ撮影するときのご注意

内蔵フラッシュの光がレンズやレンズのフードでさえぎられると画像に影が写り込みます。フードは取り外して撮影してください。

手ブレ補正機能

このレンズには手ブレ補正機能があります。手ブレ補正機能はカメラで設定できます。詳しくは、カメラの説明書をご覧ください。

手ブレ補正機能を使用すると、使わないときと比べて 5.0 段（カメラの手ブレ補正機能を［ノーマル］にしているとき）*シャッタースピードを遅くして撮影できるため、シャッタースピードの選択範囲が広がります。

※CIPA 規格準拠。ただし、FX フォーマット対応レンズは FX フォーマットのミラーレスカメラ使用時、DX レンズは DX フォーマットのミラーレスカメラ使用時、ズームレンズは最も望遠側で測定。

手ブレ補正使用時のご注意

- 手ブレ補正機構の構造上、レンズを振るとカタカタ音がすることがありますが、故障ではありません。
- 三脚撮影時にカメラの手ブレ補正機能を［ノーマル］または［スポーツ］に設定すると、三脚ブレを軽減します。ただし、三脚の種類や撮影条件によっ、［しない］にした方がよい場合があります。
- 一脚を使用するときには、［ノーマル］または［スポーツ］に設定することをおすすめします。

カメラにレンズを取り付けたときのご注意

- ピント合わせを行った後に、カメラの電源を OFF にして再び ON にするとピント位置が変わることがあります。ピントをあらかじめ合わせておいて被写体を待つ際はピン撮影などでは、ピントを合わせてからシャッターをできるまでにカメラの電源を OFF にしないことをおすすめします。
- FX フォーマットのカメラに取り付けた場合は、以下の制限があります。
  - 撮像範囲が DX フォーマットになり、FX フォーマット対応レンズ装着時よりも記録画素数およびフォーカスポイントが少なくなります。
  - セットアップメニューの［イメージダストオフデータ取得］は使用できません。
- Z 6 に取り付けた場合、動画撮影メニュー［画像サイズ / フレームレート］で 1920 × 1080 120p、1920 × 1080 100p または 1920 × 1080 スローを選ぶと、以下の設定で撮影されます。
  - 1920 × 1080 120p → 1920 × 1080 60p
  - 1920 × 1080 100p → 1920 × 1080 50p
  - 1920 × 1080 30p 4 倍スロー → 1920 × 1080 30p
  - 1920 × 1080 25p 4 倍スロー → 1920 × 1080 25p
  - 1920 × 1080 24p 5 倍スロー → 1920 × 1080 24p

取り扱いのご注意

- フードをレンズに装着した状態で、フードだけを持たないでください。
- CPU 信号接点は汚さないようにご注意ください。
- レンズを外してカメラに装着していないときは、必ずレンズキャップと裏ぶたを取り付けてください。
- レンズを保管するときは、レンズ内部を保護するために太陽光のあたらない所に保管してください。
- レンズをホコりのない、湿気の多い場所に置かないでください。部品がサビつくなどして故障の原因になりますのでご注意ください。
- 火の近くなど、極端に温度が高くなるところに置かないでください。外装の一部に使用している強化プラスチックが変形することがあります。
- 極端に温度差のある場所に急にレンズを持ち込むと、レンズ内部に水滴が生じ、故障の原因となります。レンズをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてからお使いください。
- レンズを傷から守るために、持ち運びときは別売のレンズケースなどに入れることをおすすめします。

レンズのお手入れ

- レンズ面を清掃する場合、通常はほこりを払う程度にしてください。
- レンズ面に指紋などが油分を含む汚れがついたときは、少量の無水アルコール（エタノール）や市販のレンズクリーナーで湿らせた柔らかい清潔な木綿の布または市販のレンズクリーニングペーパーを使って、レンズの中心から外周へ渦巻き状に拭いてください。その場合、拭きムラや拭き残りがないように注意してください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐには、別売のニュートラルカラー NC フィルターなどの使用をおすすめします。
- レンズを長期間使用しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光があたるところ、防虫剤があるところも避けてください。

アクセサリー

付属アクセサリー

- 62 mm スプリング式レンズキャップ LC-62B
- 裏ぶた LF-N1

使用できるアクセサリー

- レンズケース CL-C1
- バヨネットフード HB-90A
- 62 mm ネジ込みフィルター

フィルターを使用する場合

- フィルターは 1 枚で使用してください。
- フィルターは、フードを取り外してから装着してください。また、円偏光フィルターの偏光効果の調節も、フードを取り外した状態で行ってください。

仕様

マウント	ニコン Z マウント
焦点距離	50 mm — 250 mm
最大口径比	1：4.5 — 6.3
レンズ構成	12 群 16 枚（ED レンズ 1 枚）
画角	31° 30′ — 6° 30′（撮像範囲 DX）
焦点距離目盛	50、70、100、135、200、250 mm
フォーカシング方式	iF（インターナルフォーカス）方式
手ブレ補正	ボイスコイルモーター（VCM）によるレンズシフト方式
最短撮影距離	・焦点距離 50 mm 時：撮像面から 0.5 m ・焦点距離 70 mm 時：撮像面から 0.52 m ・焦点距離 100 mm 時：撮像面から 0.58 m ・焦点距離 135 mm 時：撮像面から 0.65 m ・焦点距離 200 mm 時：撮像面から 0.83 m ・焦点距離 250 mm 時：撮像面から 1.0 m
最大撮影倍率	0.23 倍
絞り羽根枚数	7 枚（円形絞り）
絞りの範囲	・焦点距離 50 mm 時：f/4.5 — 22 ・焦点距離 250 mm 時：f/6.3 — 32
アタッチメントサイズ	62 mm（P=0.75 mm）
寸法	約 74 mm（最大径）× 110 mm（レンズマウント基準面からレンズ先端まで、沈胴時）
質量	約 405 g

※ 製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

サービスとサポート

修理サービスのご案内

■ インターネットでのお申込み

ニコンイメージジャパン修理センターで承ります。
下記のホームページからお申込みいただけます。
https://www.nikon-image.com/support/repair/

- **ニコン ピックアップサービスで発送する場合**
  梱包資材の提供・修理品のお引き取り、修理後のお届け・集金までをニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）が一括して代行するサービスです。全国一律の料金にて承ります（大きさや重さには制限があり、取り扱いできない製品もあります）。
- **ご自身で発送する場合**
  インターネットでお申込みいただいた後、お客様ご自身で修理品を梱包し、修理センターまで発送してください。

株式会社ニコンイメージングジャパン修理センター
〒 230-0052 横浜市鶴見区生麦 2-2-26　修理センターナビダイヤル 0570-02-8200
※修理センターでは、宅配便、郵送をお受けします。ご来所の方の受付はしておりません。

■ お電話でのお申込み

お電話でのお申込みの場合は、ニコンピックアップサービスをご利用いただけます。

ニコン ピックアップサービス専用 フリーダイヤル（ヤマト運輸にて承ります）
0120-02-8155
営業時間：9：00 ～ 18：00（年末年始を除く毎日）
※上記フリーダイヤルは、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）にて承ります。修理内容に関するお問い合わせにはお答えできません。修理内容に関するお問い合わせは修理センターへお願いいたします。

■ サービスセンターでのお手続き

ニコンプラザのサービスセンター窓口でお預かり・受け付をいたします。

修理品をお預けいただく場合のご注意

- ボディーキャップやレンズキャップが付属している製品の場合は、製品保護のため、装着してお預けください。
- 修理にふさわしくないものは、ご自身で保管ください。
- カメラなどの修理では、保存情報の調査で撮影データをやむを得ず消去する場合があります。大切なデータはさきがけバックアップをお取りください。

修理に関するお問い合わせ先

株式会社ニコンイメージングジャパン修理センター
修理センターナビダイヤル
0570-02-8200
営業時間：9：30 ～ 18：00（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター（03）6702-0577 におかけください。

ニコンプラザについて

ニコンプラザは、ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン映像製品の総合情報拠点です。
※ ニコンプラザサービスセンターでは持ち込み修理の受け付けも行っています。

ニコンプラザショールーム　ナビダイヤル
0570-02-8080
ニコンプラザサービスセンター　ナビダイヤル
0570-02-8060
- 音声ガイダンスにしたがってご利用ください。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター（03）6702-0577 におかけください。

ニコンプラザの所在地、営業時間などについては、下記 URL をご覧ください。
https://www.nikon-image.com/support/showroom/

製品の使い方に関するお問い合わせ先

■ インターネットでのお問い合わせ
https://www.nikon-image.com/support/contact/

■ お電話でのお問い合わせ
ニコンカスタマーサポートセンター ナビダイヤル
0570-02-8000
営業時間：9：30 ～ 18：00（年末年始、夏期休業日等を除く毎日）
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター（03）6702-0577 におかけください。
- ファクシミリは、（03）5977-7499 にお送りください。

お問い合わせ時のお願い
- おわかりになる範囲で「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、問題が発生した場合は「手順」、「現象（表示されたメッセージ）」、「発生頻度」などをご確認のうえ、お問い合わせください。

ニコンイメージング会員「製品登録」のご案内

ニコンでは製品を安全に、安心してご使用いただくため「製品登録」へのご協力をお願いしております。ご登録いただいた製品に関するファームアップ情報や重要なお知らせなどをメールでご案内いたします。

■ 製品登録方法
製品は、「ニコンイメージング会員」（無料）の「製品登録」ページからご登録いただけます。ニコンイメージング会員登録および製品登録は以下ニコンホームページからお手続きください。

ニコンイメージング会員のご案内
https://www.nikon-image.com/enjoy/membership/about/

■ ニコンイメージング会員とは

登録製品に関するサポート情報・ニコン製品情報や、お得で便利な会員特典*などフォトライフをより充実しみたためくための会員サービスです。
※特典は登録製品ごとに異なります。

ご注意
- ご登録にはメールアドレスとインターネットに接続できる環境が必要です。
- 登録製品の製品番号（製品本体および保証書に記載）が必要です。
- 特典の内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

ニコンイメージングサポートページのご案内

https://www.nikon-image.com/support/

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデート情報をご覧いただけます。製品をより有効にご利用いただくために、定期的なアクセスをおすすめします。

En User's Manual

Before using this product, please read these instructions carefully. You will also need to consult the camera manual.
- This lens is intended exclusively for use with mirrorless cameras featuring a Nikon Z mount.
- Update to the latest version of the camera firmware before using this lens with the Z 7 or Z 6, as otherwise the camera may fail to correctly recognize the lens and features such as vibration reduction may be unavailable. The latest firmware is available from the Nikon Download Center.

For Your Safety

To prevent damage to property or injury to yourself or to others, read "For Your Safety" in its entirety before using this product.

Keep these safety instructions where all those who use this product will read them.

⚠ **WARNING:** Failure to observe the precautions marked with this icon could result in death or severe injury.
⚠ **CAUTION:** Failure to observe the precautions marked with this icon could result in injury or property damage.

⚠ WARNING

- **Do not disassemble or modify this product.**
  Do not touch internal parts that become exposed as the result of a fall or other accident.
  Failure to observe these precautions could result in electric shock or other injury.
- **Should you notice any abnormalities such as the product producing smoke, heat, or unusual odors, immediately disconnect the camera power source.**
  Continued operation could result in fire, burns or other injury.
- **Keep dry.**
  Do not handle with wet hands.
  Failure to observe these precautions could result in fire or electric shock.
- **Do not use this product in the presence of flammable dust or gas such as propane, gasoline or aerosols.**
  Failure to observe this precaution could result in explosion or fire.
- **Do not directly view the sun or other bright light source through the lens.**
  Failure to observe this precaution could result in visual impairment.
- **Keep this product out of reach of children.**
  Failure to observe this precaution could result in injury or product malfunction. In addition, note that small parts constitute a choking hazard. Should a child swallow any part of this product, seek immediate medical attention.
- **Do not handle with bare hands in locations exposed to extremely high or low temperatures.**
  Failure to observe this precaution could result in burns or frostbite.

⚠ CAUTION

- **Do not leave the lens pointed at the sun or other strong light sources.**
  Light focused by the lens could cause fire or damage to product's internal parts. When shooting backlit subjects, keep the sun well out of the frame. Sunlight focused into the camera when the sun is close to the frame could cause fire.
- **Do not leave the product where it will be exposed to extremely high temperatures, for an extended period such as in an enclosed automobile or in direct sunlight.**
  Failure to observe this precaution could result in fire or product malfunction.
- **Do not transport cameras or lenses with tripods or similar accessories attached.**
  Failure to observe this precaution could result in injury or product malfunction.

Notices for Customers in the U.S.A.

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Federal Communications Commission (FCC) Radio Frequency Interference Statement
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/television technician for help.

CAUTIONS
Modifications
The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by Nikon Corporation may void the user's authority to operate the equipment.

Nikon Inc., 1300 Walt Whitman Road,
Melville, New York 11747-3064, U.S.A.
Tel.: 631-547-4200

Notice for Customers in Canada

CAN ICES-3 B / NMB-3 B

Using the Lens

Parts of the Lens: Names and Functions

Refer to the diagram on the left edge of this sheet.

① Lens hood mounting mark	Use when attaching the lens hood.	See Ⓒ
② Zoom ring	Rotate to zoom in or out. Be sure to extend the lens before use.	See Ⓐ
③ Focal length scale	Determine the approximate focal length when zooming the lens in or out.	—
④ Focal length mark		
⑤ Control ring	**Autofocus mode selected**: In autofocus mode, rotate the ring to adjust a setting such as [Focus (M/A)] or [Aperture] assigned using the camera. For more information, see the description of [Custom control assignment]./[Custom controls (shooting)] in the camera manual. **Manual focus mode selected**: Rotate the ring to focus.	—
⑥ Lens mounting mark	Use when mounting the lens on the camera.	See Ⓐ
⑦ CPU contacts	Used to transfer data to and from the camera.	—
⑧ Lens hood*	Lens hoods block stray light that would otherwise cause flare or ghosting. They also serve to protect the lens.	See Ⓒ
⑨ Lens hood lock mark	Use when attaching the lens hood.	
⑩ Lens hood alignment mark		
⑪ Front lens cap	—	—
⑫ Rear lens cap	—	—

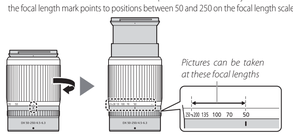
* Available separately.

Ⓐ Attachment and Removal

Attaching the Lens
1. Turn the camera off, remove the body cap, and detach the rear lens cap.
2. Position the lens on the camera body, keeping the mounting mark on the lens aligned with the mounting mark on the camera body, and then rotate the lens counterclockwise until it clicks into place.

Removing the Lens
1. Turn the camera off.
2. Press and hold the lens release button while turning the lens clockwise.

Ⓑ Before Use
The lens is retractable and must be extended before use. Rotate the zoom ring as shown until the lens clicks into the extended position. Pictures can only be taken when the focal length mark points to positions between 50 and 250 on the focal length scale.

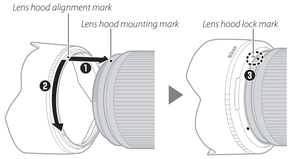


To retract the lens, rotate the zoom ring in the opposite direction, stopping when you reach the (●) position on the focal length scale.

If the camera is turned on with the lens retracted, a warning will be displayed. Extend the lens before use.

Ⓒ Attaching and Removing Optional Lens Hoods
Align the lens hood mounting mark with the lens hood alignment mark (❶) and then rotate the hood (❷) until the mounting mark is aligned with the lens hood lock mark (❸).

To remove the hood, reverse the above steps.



When attaching or removing the hood, hold it near the lens hood alignment mark (●) and avoid gripping the front of the hood too tightly. The hood can be reversed and mounted on the lens when not in use.

Using the Lens on Cameras with a Built-in Flash

Shadows will be visible in photos where the light from the built-in flash is obscured by the lens or lens hood. Remove the lens hood before shooting.

Vibration Reduction (VR)

The lens's on-board vibration reduction can be enabled or disabled using camera controls; see the camera manual for details. With [Normal] selected for the on-camera vibration reduction option, vibration reduction allows speeds up to 5.0 stops* slower than would otherwise be the case, expanding the range of shutter speeds available.
* *Measured according to CIPA standards. Values for lenses that support FX format are measured on FX-format mirrorless cameras, those for DX lenses on DX-format mirrorless cameras. Values for zoom lenses are measured at maximum zoom.*

Vibration Reduction
- Due to the design of the vibration reduction system, the lens may rattle when shaken. This does not indicate a malfunction.
- To reduce blur caused by tripod shake, select [Normal] or [Sport] for the on-camera vibration reduction option when the camera is mounted on a tripod. Note, however, that depending on the type of tripod and shooting conditions, there may be cases in which [Off] is the preferred option.
- [Normal] or [Sport] is recommended when the camera is mounted on a monopod.

When the Lens Is Attached

- The focus position may change if you turn the camera off and then on again after focusing. If you have focused on a pre-selected location while waiting for your subject to appear, we recommend that you do not turn the camera off until the picture is taken.
- Mounting this lens on an FX-format camera:
  - selects the DX image area, reducing the available focus points and number of pixels recorded, and
  - disables the [Image Dust Off ref photo] option in the setup menu.
- Movies shot with the lens mounted on a Z 6 and 1920 × 1080 120p, 1920 × 1080 100p, or 1920 × 1080 slow-motion selected for [Frame size/frame rate] in the movie shooting menu will be recorded at the following frame sizes and rates:
  - 1920 × 1080; 120p → 1920 × 1080; 60p
  - 1920 × 1080; 100p → 1920 × 1080; 50p
  - 1920 × 1080; 30p ×4 (slow-motion) → 1920 × 1080; 30p
  - 1920 × 1080; 25p ×4 (slow-motion) → 1920 × 1080; 25p
  - 1920 × 1080; 24p ×5 (slow-motion) → 1920 × 1080; 24p

Precautions for Use

- Do not pick up or hold the lens or camera using only the lens hood.
- Keep the CPU contacts clean.
- Replace the front and rear lens caps when the lens is not in use.
- To protect the interior of the lens, store it out of direct sunlight.
- Do not leave the lens in humid locations or in locations in which it may be exposed to moisture. Rusting of the internal mechanism can cause irreparable damage.
- Do not leave the lens next to open flames or in other extremely hot locations. Extreme heat could damage or warp exterior parts made from reinforced plastic.
- Rapid changes in temperature may cause damaging condensation inside and outside the lens. Before taking the lens from a warm to a cold environment or vice versa, place it in a bag or plastic case to slow the change in temperature.
- We recommend that you place the lens in a case (available separately) to protect it from scratches during transport.

Lens Care

- Removing dust is normally sufficient to clean the glass surfaces of the lens.
- Smudges, fingerprints, and other oily stains can be removed from the lens surface using a soft, clean cotton cloth or lens cleaning tissue lightly dampened with a small amount of ethanol or lens cleaner. Wipe gently from the center outwards in a circular motion, taking care not to leave smears or touch the lens with your fingers.
- Never use organic solvents such as paint thinner or benzene to clean the lens.
- Neutral Color (NC) filters (available separately) and the like can be used to protect the front lens element.
- If the lens will not be used for an extended period, store it in a cool, dry location to prevent mold and rust. Do not store in direct sunlight or with naphtha or camphor moth balls.

Accessories

Supplied Accessories

- LC-62B 62 mm snap-on Front Lens Cap
- LF-N1 Rear Lens Cap

Compatible Accessories

- CL-C1 Lens Case
- HB-90A Bayonet Hood
- 62 mm screw-on filters

Filters
- Use only one filter at a time.
- Remove the lens hood before attaching filters or rotating circular polarizing filters.

Specifications

Mount	Nikon Z mount
Focal length	50 – 250 mm
Maximum aperture	f/4.5 – 6.3
Lens construction	16 elements in 12 groups (including 1 ED element)
Angle of view	31° 30′–6° 30′ (DX image area)
Focal length scale	Graduated in millimeters (50, 70, 100, 135, 200, 250)
Focusing system	Internal focusing system
Vibration reduction	Lens shift using voice coil motors (VCMs)
Minimum focus distance (measured from focal plane)	• 50 mm zoom position: 0.5 m (1.64 ft) • 70 mm zoom position: 0.52 m (1.71 ft) • 100 mm zoom position: 0.58 m (1.91 ft) • 135 mm zoom position: 0.65 m (2.14 ft) • 200 mm zoom position: 0.83 m (2.73 ft) • 250 mm zoom position: 1.0 m (3.29 ft)
Maximum reproduction ratio	0.23×
Diaphragm blades	7 (rounded diaphragm opening)
Aperture range	• 50 mm zoom position: f/4.5 – 22 • 250 mm zoom position: f/6.3 – 32
Filter-attachment size	62 mm (P = 0.75 mm)
Dimensions	Approx. 74 mm/3 in. maximum diameter × 110 mm/4.4 in. (distance from camera lens mount flange when lens is retracted)
Weight	Approx. 405 g (14.3 oz)

Nikon reserves the right to change the appearance, specifications, and performance of this product at any time and without prior notice.

Fr Manuel d'utilisation

Avant d'utiliser ce produit, veuillez lire ces instructions attentivement. Vous devrez également consulter le manuel de l'appareil photo.
- Cet objectif est destiné exclusivement aux appareils photo hybrides dotés d'une monture Nikon Z.
- Mettez à jour le firmware de l'appareil photo avant d'utiliser cet objectif avec le Z 7 ou Z 6, car sinon l'appareil photo risque de ne pas reconnaître correctement l'objectif ; de plus, il se peut que certaines fonctionnalités comme la réduction de vibration soient indisponibles. La dernière version du firmware est téléchargeable depuis le Centre de téléchargement de Nikon.

Pour votre sécurité

Afin d'éviter de provoquer des dommages matériels ou de vous blesser ou de blesser un tiers, lisez intégralement « Pour votre sécurité » avant d'utiliser ce produit.

Conservez ces consignes de sécurité dans un endroit facilement accessible à tous ceux qui pourraient se servir de ce produit.

⚠ **AVERTISSEMENT :** le non-respect des consignes indiquées par cette icône peut vous exposer à un danger de mort ou à de graves blessures.
⚠ **ATTENTION :** le non-respect des consignes indiquées par cette icône peut vous exposer à des blessures ou provoquer des dommages matériels.

⚠ AVERTISSEMENT

- **Ne démontez pas ou ne modifiez pas ce produit.**
  Ne touchez pas les composants internes qui sont exposés suite à une chute ou à un autre accident.
  Le non-respect de ces consignes peut provoquer un choc électrique ou d'autres blessures.
- **Si vous observez des anomalies provenant du produit comme de la fumée, de la chaleur ou des odeurs inhabituelles, débranchez immédiatement la source d'alimentation de l'appareil photo.**
  Continuer d'utiliser le matériel risque de provoquer un incendie, des brûlures ou d'autres blessures.
- **Gardez votre matériel au sec.**
  Ne le manipulez pas avec les mains mouillées.
  Le non-respect de ces consignes de sécurité peut provoquer un incendie ou un choc électrique.
- **N'utilisez pas ce produit en présence de poussières ou de gaz inflammables comme du propane, de l'essence ou des aérosols.**
  Le non-respect de cette consigne peut provoquer une explosion ou un incendie.
- **N'observez pas directement le soleil ou toute autre source lumineuse puissante à travers l'objectif.**
  Le non-respect de cette consigne peut provoquer des troubles visuels.
- **Conservez ce produit hors de portée des enfants.**
  Le non-respect de cette consigne peut provoquer des blessures ou le dysfonctionnement du produit. En outre, notez que les petites pièces présentent un risque d'étouffement. Si jamais un enfant avalait une pièce de ce produit, consultez immédiatement un médecin.
- **Ne manipulez pas le matériel à mains nues dans des lieux exposés à des températures extrêmement basses ou élevées.**
  Le non-respect de cette consigne peut provoquer des brûlures ou des engelures.

⚠ ATTENTION

- **Ne pointez pas l'objectif en direction du soleil ou d'autres sources très lumineuses.**
  La lumière focalisée par l'objectif peut provoquer un incendie ou endommager les composants internes du produit. Lorsque vous photographiez un sujet à contre-jour, veillez à garder toujours le soleil à l'extérieur du cadre. Lorsque le soleil se trouve près du cadre, sa lumière risque de se concentrer dans l'appareil photo et de provoquer un incendie.
- **Ne laissez pas le produit exposé à des températures excessivement chaudes pendant une période prolongée, comme dans une voiture fermée ou en plein soleil.**
  Le non-respect de cette consigne peut provoquer un incendie ou le dysfonctionnement du produit.
- **Ne transportez pas les appareils photo ou les objectifs si des trépieds ou accessoires similaires sont fixés.**
  Le non-respect de cette consigne peut provoquer des blessures ou le dysfonctionnement du produit.

Avis pour les clients au Canada

CAN ICES-3 B / NMB-3 B

Utilisation de l'objectif

Descriptif de l'objectif : noms et fonctions

Reportez-vous aux figures situées à gauche.

① Repère de montage du parasoleil	Référez-vous à ce repère lorsque vous fixez le parasoleil.	Voir Ⓒ
② Bague de zoom	Tournez cette bague pour effectuer un zoom avant ou arrière. Veillez à sortir l'objectif avant toute utilisation.	Voir Ⓑ
③ Échelle des focales	Définissez la focale approximative lorsque vous effectuez un zoom avant ou arrière.	—
④ Repère des focales		
⑤ Bague de réglage	**Mode autofocus sélectionné** : En mode autofocus, tournez la bague pour modifier un réglage, tel que [Mise au point (M/A)] ou [Ouverture], attribué à l'aide de l'appareil photo. Pour en savoir plus, reportez-vous à la description de [Définition réglages perso.]/[Commandes perso (prise de vue)] dans le manuel de l'appareil photo. **Mode de mise au point manuelle sélectionné** : Tournez la bague pour effectuer la mise au point.	—
⑥ Repère de montage de l'objectif	Référez-vous à ce repère lorsque vous fixez l'objectif sur l'appareil photo.	Voir Ⓐ
⑦ Contacts du microprocesseur	Utilisés pour transférer les données depuis ou vers l'appareil photo.	—
⑧ Parasoleil*	Le parasoleil bloque la lumière diffuse pouvant provoquer de la lumière parasite ou une image fantôme. Il permet aussi de protéger l'objectif.	Voir Ⓒ
⑨ Repère de verrouillage du parasoleil	Référez-vous à ces repères lorsque vous fixez le parasoleil.	
⑩ Repère d'alignement du parasoleil		
⑪ Bouchon avant d'objectif	—	—
⑫ Bouchon arrière d'objectif	—	—

* Disponible séparément.

Ⓐ Fixation et retrait

Fixation de l'objectif
1. Mettez l'appareil photo hors tension, retirez le bouchon du boîtier et détachez le bouchon arrière de l'objectif.
2. Placez l'objectif sur le boîtier de l'appareil photo, en maintenant le repère de montage de l'objectif aligné sur le repère de montage du boîtier de l'appareil photo, puis faites pivoter l'objectif dans le sens inverse des aiguilles d'une montre jusqu'au déclic.

Retrait de l'objectif
1. Mettez l'appareil photo hors tension.
2. Maintenez appuyée la commande de déverrouillage de l'objectif tout en faisant pivoter ce dernier dans le sens des aiguilles d'une montre.

Ⓑ Avant toute utilisation
Cet objectif est rétractable et doit être sorti avant toute utilisation. Tournez la bague de zoom comme illustré, jusqu'à ce que l'objectif sorte en émettant un déclic. Il est possible de prendre des photos uniquement lorsque le repère des focales pointe sur des positions comprises entre 50 et 250 sur l'échelle des focales.

Pour rétracter l'objectif, tournez la bague de zoom dans le sens inverse, en vous arrêtant lorsque vous atteignez la position (●) sur l'échelle des focales.

Si vous mettez l'appareil photo sous tension alors que l'objectif est rétracté, un avertissement s'affiche. Sortez l'objectif avant toute utilisation.

Ⓒ Fixation et retrait des parasoleils (en option)
Alignez le repère de montage du parasoleil sur le repère d'alignement du parasoleil (❶), puis tournez ce dernier (❷) jusqu'à ce que le repère de montage s'aligne sur le repère de verrouillage du parasoleil (❸).

Pour retirer le parasoleil, effectuez les étapes ci-dessus dans le sens inverse.

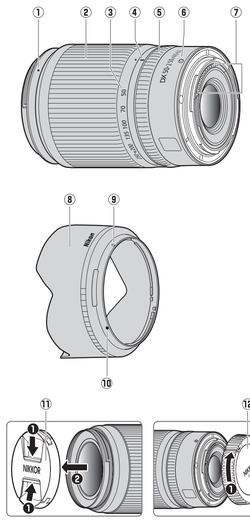
Nikon

NIKKOR

NIKKOR Z DX 50-250mm f/4.5-6.3 VR

Sc 使用说明书
Es Manual del usuario
Kr 사용설명서
Jp 使用説明書
En User's Manual
Fr Manuel d'utilisation

NIKON CORPORATION



Sc 使用说明书

保留备用

使用产品前请仔细阅读本使用说明书。

在使用本产品前，请仔细阅读本使用说明书。您还需要查阅照相机说明书。

- 本镜头专供带有尼康Z卡口的微型单电相机使用。
- 将本镜头用于Z 7或Z 6之前，请先将照相机固件更新至最新版本，否则照相机可能无法正确识别镜头，并且减震等功能可能不可用。最新固件可从尼康下载中心获取。

安全须知

为预防对您或他人造成人身伤害或财产损失，请在使用前仔细阅读“安全须知”，并以正确的方法使用。

请在阅读之后妥善保管本使用说明书，以便随时查阅。

⚠ 警告 表示“有可能造成人员死亡或负重伤的内容”。

⚠ 注意 表示“有可能造成人员负轻伤或财产损失的内容”。

本节使用以下图示和符号对必须遵守的内容作以分类。

🛇 表示不允许进行的行为。

❗ 表示必须进行的行为。

⚠ 警告

🛇 禁止拆解	**切勿自行拆解、修理或改装。** **当产品由于跌落等原因而破损使得内部外露时，切勿触碰外露部分。** 否则将导致触电或受伤。
❗ 执行	**当发现产品变热、冒烟或发出焦味等异常时，请立刻切断照相机电源。** 若放任不管，将导致起火或烫伤。
🛇 禁止	**切勿使产品被水淋湿。** **切勿用湿手触碰产品。** 否则将导致触电或起火。
🛇 禁止	**切勿在有可能起火、爆炸的场所使用。** 若在有丙烷气、汽油、可燃性喷雾剂等易燃性气体、粉尘的场所使用产品，将导致爆炸或火灾。
🛇 禁止	**切勿透过镜头直接观看太阳或其他强光。** 否则将导致失明或视觉损伤。
🛇 禁止	**切勿在婴幼儿伸手可及之处进行保管。** 否则将导致放障或受伤。若误吞细小部件，将会对身体造成伤害。万一意外吞入口中，请立即接受医生诊疗。
🛇 禁止	**在高温环境或低温环境中，切勿直接接触产品。** 否则将可能导致烫伤、低温烫伤或冻伤。

⚠ 注意

🛇 禁止	**切勿将镜头对着太阳或强光。** 否则将有可能聚光，使内部零件破损或导致起火。进行背光拍摄时，请使太阳充分偏离视角。若仅使太阳稍微偏离视角，也可能导致起火。
🛇 禁止	**切勿放置于夏天封闭的车内或直射阳光下等高温环境中。** 否则将导致放障或起火。
🛇 禁止	**切勿移动安装有照相机或镜头的三脚架。** 否则将导致放障或受伤。

使用镜头

镜头部件：名称和功能

请参阅本页面左边的图表。

① 镜头遮光罩安装标记	安装镜头遮光罩时使用。	参阅 C
② 变焦环	旋转可进行放大或缩小。使用前请务必先伸出镜头。	参阅 B
③ 焦距刻度	用于在镜头放大或缩小时判断近似焦距。	—
④ 焦距标记		
⑤ 控制环	**选择了自动对焦模式时：** 在自动对焦模式下，旋转控制环可调整使用照相机指定的[对焦（M/A）]或[光圈]设定。有关详细信息，请参阅照相机说明书中[自定义控制功能]/[自定义控制（拍摄）]的相关说明。 **选择了手动对焦模式时：** 旋转控制环可进行对焦。	—
⑥ 镜头安装标记	将镜头安装至照相机时使用。	参阅 A
⑦ CPU接点	用于将数据传送至照相机或从照相机中传送数据。	—
⑧ 镜头遮光罩*	镜头遮光罩可阻挡可能导致杂光或鬼影的散射光线。它们还可用于保护镜头。	参阅 C
⑨ 镜头遮光罩锁定标记	安装镜头遮光罩时使用。	
⑩ 镜头遮光罩对齐标记		
⑪ 镜头前盖	—	—
⑫ 镜头后盖	—	—

* 另购。

Ⓐ 安装与取下

安装镜头

1 关闭照相机，取下机身盖。然后取下镜头后盖。

2 将镜头上的安装标记与照相机机身上的安装标记对齐，同时将镜头置于照相机机身上，然后逆时针旋转镜头直至其卡入正确位置发出咔嗒声。

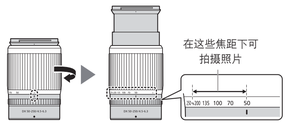
取下镜头

1 关闭照相机。

2 按住镜头释放按钮并同时顺时针旋转镜头。

Ⓑ 使用之前

镜头可伸缩，且使用前必须先伸出。如图所示旋转变焦环直至镜头达到伸出位置发出咔嗒声。仅当焦距标记指向焦距刻度上50至250之间的位置时才可拍摄照片。



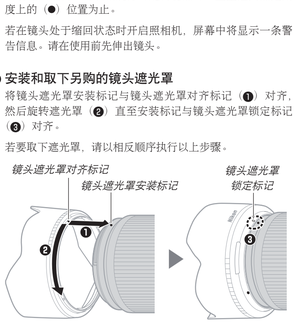
若要缩回镜头，请以相反方向旋转变焦环，直至达到焦距刻度上的（●）位置为止。

若在镜头处于缩回状态时开启照相机，屏幕中将显示一条警告信息。请在使用前先伸出镜头。

Ⓒ 安装和取下另购的镜头遮光罩

将镜头遮光罩安装标记与镜头遮光罩对齐标记（❶）对齐，然后旋转遮光罩（❷）直至安装标记与镜头遮光罩锁定标记（❸）对齐。

若要取下遮光罩，请以相反顺序执行以上步骤。



安装或取下遮光罩时，请在镜头遮光罩对齐标记（●）附近将其握住，并避免将遮光罩的前部握得太紧。不使用时，可将遮光罩反转并固定在镜头上。

在配备内置闪光灯的照相机上使用镜头

当内置闪光灯的光线被镜头或镜头遮光罩遮挡时，所拍照片中会出现阴影。请在拍摄前取下镜头遮光罩。

减震（VR）

您可使用照相机控制自用或禁用镜头搭载的减震功能；有关详细信息，请参阅照相机的说明书。当连机减震选项设为[Normal]（标准）时，减震允许快门速度比一般情况时最多降低5.0档*，拓展可用快门速度的范围。

** 根据CIPA标准进行的测量。支持FX格式的镜头的值是在FX格式微型单电相机上所测量，而DX镜头的值是在DX格式微型单电相机上所测量。变焦镜头的值是在最大变焦设定下进行的测量。*

✓ 减震

- 由于减震系统的设计特性，镜头在摇动时将可能发出嘎嘎声。这并非故障。
- 当照相机安装于三脚架时，若要减少三脚架晃动造成的模糊，请将连机减震选项选为[Normal]（标准）或[Sport]（运动）。但是请注意，根据三脚架类型和拍摄环境的不同，有时[关闭]可能是您的首选。
- 当照相机固定于单脚架时，推荐使用[Normal]（标准）或[Sport]（运动）。

安装镜头后

- 若您在对焦后关闭照相机并重新开启，对焦位置可能会发生改变。若您在等待拍摄对象出现期间已对焦于预选位置，我们建议您在照片拍摄前不要关闭照相机。
- 将本镜头安装至FX格式照相机：
  - 选择DX影像区域，以减少可用对焦点数量和记录的像素量，
  - 然后在设定菜单中禁用[图像除尘参照图]选项。
- 当镜头安装于Z 6，并且在视频拍摄菜单中将[画面尺寸/帧频]选为1920×1080 120p、1920×1080 100p或1920×1080慢动作拍摄视频时，将使用以下画面尺寸和帧频进行录制：
  - 1920×1080：120p → 1920×1080：60p
  - 1920×1080：100p → 1920×1080：50p
  - 1920×1080：30p×4（慢动作）→ 1920×1080：30p
  - 1920×1080：25p×4（慢动作）→ 1920×1080：25p
  - 1920×1080：24p×5（慢动作）→ 1920×1080：24p

使用注意事项

- 拿起或持握镜头或照相机时，切勿仅持拿镜头遮光罩。
- 保持CPU接点清洁。
- 不使用镜头时，请重新盖上镜头前后盖。
- 为保护镜头内部，请将其存放在没有阳光照射的地方。
- 切勿将镜头置于潮湿的地方或可能沾染湿气的场所。内部装置生锈将导致无法拽回的损坏。
- 切勿将镜头靠近明火或置于其他过热的场所。过热可能会使强化塑料表面部件受损或变形。
- 温度的突变可能导致镜头内外部结露以致损坏。将镜头从温暖的环境带入寒冷的环境或从寒冷的环境带入温暖的环境之前，请先将其置于包内或塑料盒中以缓和温度的变化。
- 运输产品时，请在包装箱内装入足够多的缓冲材料，以减少（避免）由于冲击导致产品损坏。

镜头保养

- 一般情况下，清洁镜头的玻璃表面时去除灰尘即可。
- 镜头表面的污点、指纹和其他油渍可使用一块干净的软棉布或镜头清洁纸稍微沾上少许乙醇或镜头清洁剂来清除。请以圆周运动方式从里向外轻轻擦拭，注意不要留下污渍，也不要用手指触碰镜片。
- 切勿使用涂料稀释剂或苯等有机溶剂清洁镜头。
- 中性色彩（NC）滤镜（另购）等可用于保护前部镜片。
- 若您将在较长时间内不使用镜头，请将其存放在阴凉干燥的地方以防止发霉和生锈。切不可存放在直射阳光下，也不可与石脑油或樟脑丸一起存放。

配件

随附配件

- 62 mm搭扣式镜头前盖LC-62B
- 镜头后盖LF-N1

兼容的配件

- 镜头包布CL-C1
- 卡口式镜头遮光罩HB-90A
- 62 mm旋入式滤镜

✓ 滤镜

- 一次仅可使用一个滤镜。
- 安装滤镜或旋转圆形偏振滤镜前，请先取下镜头遮光罩。

技术规格

卡口	尼康Z卡口
焦距	50 – 250 mm
最大光圈	f/4.5 – 6.3
镜头结构	12组16片（包括1枚低色散ED镜片）
视角	31° 30′ –6° 30′（DX影像区域）
焦距刻度	以毫米为单位（50、70、100、135、200、250）
对焦系统	内部对焦系统
减震	使用音圈马达（VCM）的镜头位移
最近对焦距离（从焦平面开始测量）	• 50mm变焦位置：约0.5m • 70mm变焦位置：约0.52m • 100mm变焦位置：约0.58m • 135mm变焦位置：约0.65m • 200mm变焦位置：约0.83m • 250mm变焦位置：约1.0m
最大复制比率	约0.23倍
光圈叶片	7片（圆形光圈孔）
光圈范围	• 50mm变焦位置：f/4.5-22 • 250mm变焦位置：f/6.3-32
滤镜附件尺寸	62mm（P=0.75mm）
尺寸	约74mm（最大直径）×110mm（缩回镜头时，从照相机镜头卡口边缘开始的距离）
重量	约405 g

尼康公司保留可随时更改本产品的外观、技术规格和性能的权利。

产品中有害物质的名称及含量

标志	部件名称	有害物质					
		铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr (VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
⑩	外壳	○	○	○	○	○	○
	机械元件	×	○	○	○	○	○
	光学元件	○	○	○	○	○	○
	电子元件	×	○	○	○	○	○

本表格依据SJ/T11364的规定编制。

○：表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在GB/T26572规定的限量要求以下。

×：表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出GB/T26572规定的限量要求。但是，以现有的技术条件要使照相机相关产品完全不含有上述有害物质极为困难，并且上述产品都包含在《关于 有害物质使用限制指令2011/65/EU》的豁免范围之内。

进口商：尼康映像仪器销售（中国）有限公司
（上海市蒙自路757号歌斐中心12楼01-07室 邮编：200023）
尼康客户支持中心服务热线：400-820-1665
（周一至周日9:00–18:00，除夕下午休息）
尼康官方网站：https://www.nikon.com.cn/

在泰国印刷
出版日期：2019年10月1日

Es Manual del usuario

Antes de utilizar este producto, lea atentamente estas instrucciones. También tendrá que consultar el manual de la cámara.

- Este objetivo ha sido diseñado exclusivamente para su uso con cámaras mirrorless con montura Z de Nikon.
- Actualice a la versión más reciente del firmware de la cámara antes de usar este objetivo con la Z 7 o Z 6, de lo contrario, la cámara podría no ser capaz de reconocer correctamente el objetivo y funciones tales como la reducción de la vibración podrían no estar disponibles. El firmware más actualizado está disponible en el centro de descargas de Nikon.

Por su seguridad

Para evitar daños materiales, sufrir lesiones o lesionar a terceros, lea cuidadosamente "Por su seguridad" antes de usar este producto.

Guarde estas instrucciones de seguridad en un lugar en el que todos los que usen el producto puedan leerlas.

⚠ **ADVERTENCIA:** No respetar las precauciones marcadas con este icono puede causar lesiones graves o mortales.

⚠ **PRECAUCIÓN:** No respetar las precauciones marcadas con este icono puede causar lesiones o daños materiales.

⚠ ADVERTENCIA

- **No desmonte ni modifique este producto.**
  No toque las piezas internas que puedan quedar expuestas como resultado de una caída u otro accidente.
  No respetar estas precauciones puede causar descargas eléctricas u otras lesiones.
- **Si nota anomalías en el producto, como por ejemplo la emisión de humo, calor u olores inusuales, desconecte inmediatamente la fuente de alimentación de la cámara.**
  Continuar usando el producto podría causar incendios, quemaduras u otras lesiones.
- **Mantener seco.**
  No manipular con las manos mojadas.
  No respetar estas precauciones puede causar incendios o descargas eléctricas.
- **No use este producto en presencia de polvo o gas inflamable, como por ejemplo propano, gasolina o aerosoles.**
  No respetar esta precaución puede causar explosiones o incendios.
- **No mire directamente al sol o a otra fuente de luz brillante a través del objetivo.**
  No respetar esta precaución puede causar discapacidad visual.
- **Mantenga este producto alejado de los niños.**
  No respetar esta precaución puede causar lesiones o funcionamientos incorrectos del producto. Además, tenga en cuenta que las piezas pequeñas pueden presentar riesgos de asfixia. Si un niño ingiere cualquier pieza de este producto, solicite asistencia médica inmediatamente.
- **No manipular con las manos descubiertas en zonas expuestas a temperaturas extremadamente altas o bajas.**
  No respetar esta precaución puede causar quemaduras o congelación.

⚠ PRECAUCIÓN

- **No deje el objetivo apuntando hacia el sol ni hacia otras fuentes de luz intensa.**
  La luz enfocada a través del objetivo puede causar incendios o dañar las piezas internas del producto. Al disparar en condiciones de contraluz, mantenga el sol alejado del encuadre. La luz del sol enfocada en la cámara cuando el sol está cerca del encuadre puede causar un incendio.
- **No deje el producto en zonas expuestas a temperaturas extremadamente altas durante largos periodos, como por ejemplo, en el interior de un vehículo cerrado o en contacto directo con la luz del sol.**
  No respetar esta precaución puede causar incendios o funcionamientos incorrectos del producto.
- **No transporte cámaras u objetivos con trípodes o accesorios similares instalados.**
  No respetar esta precaución puede causar lesiones o funcionamientos incorrectos del producto.

Avisos para los clientes de EE.UU.

Este dispositivo cumple con la parte 15 de las normas de la FCC. El funcionamiento está sujeto a las dos condiciones siguientes: (1) este dispositivo no puede causar interferencias perjudiciales, y (2) este dispositivo debe aceptar cualquier interferencia recibida, incluidas las interferencias que pudieran generar un funcionamiento no deseado.

Declaración sobre interferencias con radiofrecuencias de la Comisión Federal de Comunicaciones (FCC)

Este equipo ha sido sometido a pruebas y se ha determinado que cumple con los límites para un dispositivo digital clase B, de acuerdo con la sección 15 del Reglamento de la FCC. Estos límites han sido establecidos para ofrecer una protección razonable contra interferencias perjudiciales en un entorno residencial. Este equipo genera, utiliza y puede irradiar energía de radiofrecuencia, y de no ser instalado y utilizado de acuerdo con las instrucciones, puede producir interferencias perjudiciales en las comunicaciones de radio. Sin embargo, no es posible garantizar que en una determinada instalación no habrá interferencias. Si este equipo causa interferencias perjudiciales en la recepción de radio o televisión, lo cual puede determinarse apagando y encendiendo el equipo, se aconseja al usuario que intente corregir dichas interferencias tomando una o más de las medidas siguientes:

- Cambie la orientación o la ubicación de la antena receptora.
- Aumente la separación entre el equipo y el receptor.
- Conecte el equipo a una toma de un circuito distinto a aquél al que el receptor esté conectado.
- Consulte al proveedor o a un técnico de radio/televisión experimentado.

PRECAUCIONES

Modificaciones

La FCC exige que se le notifique al usuario que la realización de cambios o modificaciones en este dispositivo no expresamente aprobados por Nikon Corporation puede invalidar el derecho del usuario a utilizar el equipo.

Nikon Inc., 1300 Walt Whitman Road,
Melville, New York 11747-3064, U.S.A.
Tel.: 631-547-4200

Aviso para los Clientes de Canadá

CAN ICES-3 B / NMB-3 B

Uso del objetivo

Partes del objetivo: Nombres y funciones

Consulte el diagrama que aparece en el margen izquierdo de esta página.

① Marca de montaje del parasol	Utilizar al instalar el parasol.	Consultar C
② Anillo del zoom	Gire para acercar o alejar. Asegúrese de extender el objetivo antes del uso.	Consultar B
③ Escala de la distancia focal	Determine la distancia focal aproximada al acercar o alejar el objetivo.	—
④ Marca de la distancia focal		
⑤ Anillo de control	**Modo de autofoco seleccionado:** En el modo de autofoco, gire el anillo para ajustar una configuración tal como [Enfoque (M/A)] o [Diafragmas] asignada usando la cámara. Para obtener más información, consulte la descripción de [Asignación control personalizado]/[Controles pers. (disparo)] en el manual de la cámara. **Modo de enfoque manual seleccionado:** Gire el anillo para enfocar.	—
⑥ Marca de montaje del objetivo	Utilizar al montar el objetivo en la cámara.	Consultar A
⑦ Contactos de CPU	Se utiliza para transferir datos a y desde la cámara.	—
⑧ Parasol de objetivo*	Los parasoles bloquean la luz directa que de otro modo causaría destellos o efecto fantasma. También sirven para proteger el objetivo.	Consultar C
⑨ Marca de bloqueo del parasol	Utilizar al instalar el parasol.	
⑩ Marca de alineación del parasol		
⑪ Tapa delantera del objetivo	—	—
⑫ Tapa trasera del objetivo	—	—

* Disponibles por separado.

Ⓐ Instalación y desinstalación

Instalación del objetivo

1 Apague la cámara, retire la tapa del cuerpo y extraiga la tapa trasera del objetivo.

2 Coloque el objetivo en el cuerpo de la cámara, manteniendo la marca de montaje del objetivo alineada con la marca de montaje del cuerpo de la cámara y, a continuación, gire el objetivo en sentido antihorario hasta que haga clic en su lugar.

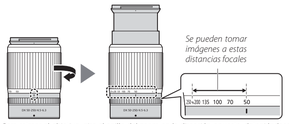
Desinstalación del objetivo

1 Apague la cámara.

2 Mantenga pulsado el botón de liberación del objetivo mientras gira el objetivo en sentido horario.

Ⓑ Antes del uso

El objetivo es retráctil y debe extenderse antes del uso. Gire el anillo del zoom como se muestra hasta que el objetivo haga clic en la posición extendida. Solamente pueden capturarse imágenes cuando la marca de la distancia focal apunta a posiciones entre 50 y 250 en la escala de la distancia focal.



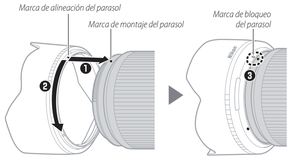
Para retraer el objetivo, gire el anillo del zoom en la dirección opuesta, deteniéndose cuando alcance la posición (●) en la escala de la distancia focal.

Si enciende la cámara con el objetivo retraído, aparecerá una advertencia. Extienda el objetivo antes del uso.

Ⓒ Colocación y extracción de los parasoles opcionales

Alinee la marca de montaje del parasol del objetivo con la marca de alineación del parasol (❶), a continuación, gire el parasol (❷) hasta que la marca de montaje quede alineada con la marca de bloqueo del parasol del objetivo (❸).

Para retirar el parasol, realice los pasos anteriores en orden inverso.



Al montar o quitar el parasol, sujételo cerca de la marca de alineación del parasol (●) y evite agarrar la parte delantera del parasol con demasiada fuerza. El parasol se puede invertir y montar sobre el objetivo cuando no esté en uso.

Uso del objetivo en cámaras con un flash incorporado

Aparecerán sombras en las fotos en las que la luz proveniente del flash incorporado sea oscurecida por el objetivo o el parasol. Retire el parasol antes de disparar.

Reducción de la vibración (VR)

La reducción de la vibración a bordo del objetivo puede activarse o desactivarse utilizando los controles de la cámara; consulte el manual de la cámara para más detalles. Si selecciona [Normal] para la opción de reducción de la vibración en la cámara, la reducción de la vibración permitirá velocidades de hasta 5,0 paradas* más lentas de lo normal, aumentando la gama de velocidades de obturación disponibles.

** Medido según los estándares de CIPA. Los valores para los objetivos compatibles con el formato FX se miden en cámaras mirrorless de formato FX, aquellos para los objetivos DX en cámaras mirrorless de formato DX. Los valores de los objetivos con zoom se miden en el zoom máximo.*

✓ Reducción de la vibración

- A causa del diseño del sistema de reducción de la vibración, el objetivo podría temblar cuando se mueva. Sin embargo, esto no indica un fallo de funcionamiento.
- Para reducir las borrosidades causadas por el movimiento del trípode, seleccione [Normal] o [Sport] para la opción de reducción de la vibración en la cámara cuando esté montada en un trípode. Sin embargo, tenga en cuenta que dependiendo del tipo de trípode y de las condiciones de disparo, puede darse el caso de que [Desactivar] sea la mejor opción.
- [Normal] o [Sport] se recomienda cuando la cámara esté montada en un monopie.

Cuando el objetivo está instalado

- La posición del enfoque podría cambiar si apaga la cámara y luego vuelve a encenderla después de enfocar. Si ha enfocado sobre una ubicación preseleccionada mientras espera que su sujeto aparezca, se recomienda no apagar la cámara hasta capturar la imagen.
- Montaje de este objetivo en una cámara de formato FX:
  - selecciona la zona de imagen DX, reduciendo los puntos de enfoque disponibles y el número de píxeles grabados y,
  - deshabilita la opción [Foto ref. eliminación polvo] en el menú de configuración.
- Los vídeos filmados con un objetivo instalado en la Z 6 y 1.920 × 1.080 120p, 1.920 × 1.080 100p o 1.920 × 1.080 cám. lenta seleccionado para [Tam. fotog./veloc. fotog.] en el menú disparo vídeo serán grabados con los siguientes tamaños y velocidades de fotogramas:
  - 1.920 × 1.080; 120p → 1.920 × 1.080; 60p
  - 1.920 × 1.080; 100p → 1.920 × 1.080; 50p
  - 1.920 × 1.080; 30p ×4 (cám. lenta) → 1.920 × 1.080; 30p
  - 1.920 × 1.080; 25p ×4 (cám. lenta) → 1.920 × 1.080; 25p
  - 1.920 × 1.080; 24p ×5 (cám. lenta) → 1.920 × 1.080; 24p

Precauciones de uso

- No recoja o sujete el objetivo o la cámara usando solamente el parasol.
- Mantenga los contactos de CPU limpios.
- Vuelva a colocar las tapas delantera y trasera del objetivo cuando no utilice el objetivo.
- Para proteger el interior del objetivo, quárdelo fuera del alcance de la luz directa del sol.
- No deje el objetivo en lugares con mucha humedad o en aquellos lugares en los que pueda estar expuesto a la humedad. El óxido en los mecanismos internos puede producir daños irreparables.
- No deje el objetivo junto a llamas o en un lugar extremadamente caliente. El calor extremo podría dañar o deformar las piezas hechas de plástico reforzado.
- Los cambios rápidos de temperatura podrían provocar condensación dañina dentro y fuera del objetivo. Antes de transportar el objetivo de un ambiente frío a otro caliente o viceversa, colóquelo en una bolsa o estuche de plástico para atenuar el cambio de temperatura.
- Se recomienda colocar el objetivo en un estuche (disponible por separado) para protegerlo contra arañazos durante el transporte.

Cuidado del objetivo

- Retirar el polvo es, por norma general, suficiente para limpiar las superficies de cristal del objetivo. Las manchas grasientas, las huellas dactilares y otras manchas pueden eliminarse de la superficie del objetivo con un paño de algodón suave y limpio o con papel de limpieza para objetivos humedecido ligeramente con una pequeña cantidad de etanol o limpiador de objetivos. Limpie delicadamente desde el centro hacia el exterior con movimientos circulares, teniendo cuidado de no dejar manchas ni de tocar el objetivo con los dedos.
- Nunca use solventes orgánicos como el disolvente de pintura o benceno para limpiar el objetivo.
- Los filtros de color neutro (NC) (disponibles por separado) y similares pueden usarse para proteger el elemento del objetivo delantero.
- Si el objetivo no se va a usar durante un periodo prolongado de tiempo, quárdelo en un lugar frío y seco para evitar la formación de moho y corrosión. No lo guarde a la luz solar directa o con bolas para polilla de alcanfor o de naftalina.

Accesorios

Accesorios suministrados

- Tapa frontal a presión del objetivo de 62 mm LC-62B
- Tapa trasera del objetivo LF-N1

Accesorios compatibles

- Estuche para objetivo CL-C1
- Parasol de bayoneta HB-90A
- Filtros con rosca de 62 mm

✓ Filtros

- Utilice únicamente un filtro cada vez.
- Retire el parasol antes de colocar filtros o de girar los filtros polarizadores circulares.

Especificaciones

Montura	Montura Z de Nikon
Distancia focal	50 – 250 mm
Diafragma máximo	f/4.5 – 6.3
Construcción de objetivo	16 elementos en 12 grupos (incluyendo 1 elemento de lente ED)
Ángulo de visión	31° 30′ – 6° 30′ (Zona de imagen DX)
Escala de la distancia focal	Graduado en milímetros (50, 70, 100, 135, 200, 250)
Sistema de enfoque	Sistema de enfoque interno
Reducción de la vibración	Desplazamiento de lente usando **v**oice **c**oil **m**otors (VCMs)
Distancia de enfoque mínima (medida desde el plano focal)	• Posición del zoom de 50 mm: 0,5 m (1,64 pies) • Posición del zoom de 70 mm: 0,52 m (1,71 pies) • Posición del zoom de 100 mm: 0,58 m (1,91 pies) • Posición del zoom de 135 mm: 0,65 m (2,14 pies) • Posición del zoom de 200 mm: 0,83 m (2,73 pies) • Posición del zoom de 250 mm: 1,0 m (3,29 pies)
Relación de reproducción máxima	0,23×
Cuchillas del diafragma	7 (apertura de diafragma redondeada)
Alcance de diafragma	• Posición del zoom de 50 mm: f/4.5 – 22 • Posición del zoom de 250 mm: f/6.3 – 32
Tamaño de accesorio del filtro	62 mm (P = 0,75 mm)
Dimensiones	Aprox. 74 mm/3 pulg. de diámetro máximo × 110 mm/4,4 pulg. (distancia desde la pletina de montaje del objetivo cuando el objetivo está retraído)
Peso	Aprox. 405 g (14,3 oz)

Nikon se reserva el derecho de cambiar el aspecto, las especificaciones y el rendimiento de este producto en cualquier momento y sin previo aviso.

Kr 사용설명서

이 제품을 사용하기 전에 본 지침을 주의해서 읽으십시오. 카메라 설명서도 참조해야 합니다.

- 이 렌즈는 Nikon Z 마운트 카메라 전용입니다.
- Z 7 또는 Z 6과 함께 이 렌즈를 사용하기 전에 카메라 펌웨어를 최신 버전으로 업데이트하십시오. 그렇지 않으면 카메라가 렌즈를 올바르게 인식하지 못하고 손떨림 보정과 같은 기능을 사용하지 못할 수 있습니다. 최신 펌웨어는 Nikon 다운로드 센터 에서 받을 수 있습니다.

안전상의 주의

제품이 손상되거나 사용자나 타인이 상해를 입지 않도록 제품을 사용하기 전에 "안전상의 주의"에 나와 있는 모든 내용을 읽으십시오.

안전 지침은 모든 사용자가 읽을 수 있는 곳에 보관하십시오.

⚠ **경고:** 이 아이콘이 표시된 주의사항을 지키지 않을 경우 사망이나 심각한 상해를 입을 수 있습니다.

⚠ **주의:** 이 아이콘이 표시된 주의사항을 지키지 않을 경우 상해를 입거나 제품이 손상될 수 있습니다.

⚠ 경고

- **이 제품을 분해하거나 개조하지 마십시오.**
  떨어뜨리거나 다른 사고로 인해 노출된 내부를 만지지 마십시오.
  이 주의사항을 지키지 않으면 감전이나 다른 상해를 입을 수 있습니다.
- **제품에서 연기가 나거나 제품이 뜨겁거나 이상한 냄새가 나는 등 이상 징후가 발견되면 카메라 전원을 즉시 분리하십시오.**
  계속 사용할 경우 화재가 발생하거나 화상 또는 다른 상해를 입을 수 있습니다.
- **건조한 곳에 보관하십시오.**
  젖은 손으로 만지지 마십시오.
  이 주의사항을 지키지 않으면 화재가 발생하거나 감전될 수 있습니다.
- **프로판, 가솔린, 에어로졸과 같은 가연성 가스 또는 분진이 있을 경우에는 제품을 사용하지 마십시오.**
  이 주의사항을 지키지 않으면 폭발이나 화재가 발생할 수 있습니다.
- **렌즈를 통해 태양이나 다른 밝은 광원을 직접 쳐다보지 마십시오.**
  이 주의사항을 지키지 않으면 시력이 손상될 수 있습니다.
- **어린이의 손이 닿지 않는 곳에 두십시오.**
  이 주의사항을 지키지 않으면 상해를 입거나 제품이 고장 날 수 있습니다.
  또한 작은 부품을 잘못 삼키면 질식될 위험이 있습니다. 어린이가 부품을 삼켰을 경우 즉시 응급 처치를 해야 합니다.
- **극고온이나 극저온 장소에서는 맨손으로 만지지 마십시오.**
  이 주의사항을 지키지 않으면 화상이나 동상을 입을 수 있습니다.

⚠ 주의

- **렌즈를 태양이나 다른 강한 광원을 향하게 두지 마십시오.**
  렌즈를 통해 초점에 모아진 빛으로 화재가 발생하거나 제품 내부가 손상될 수 있습니다. 역광을 받는 피사체를 촬영할 때는 태양을 프레임에서 충분히 멀리 떨어뜨려 두십시오. 태양이 프레임 가까이에 있을 경우 태양광이 카메라 내부에 초점을 형성해 화재가 발생할 수 있습니다.
- **밀폐된 자동차나 직사광선이 비치는 곳과 같이 온도가 매우 높은 장소에 장시간 제품을 노출하지 마십시오.**
  이 주의사항을 지키지 않으면 화재가 발생하거나 제품이 고장 날 수 있습니다.
- **삼각대 또는 유사한 액세서리가 설치된 상태에서 카메라 또는 렌즈를 이동하지 마십시오.**
  이 주의사항을 지키지 않으면 상해를 입거나 제품이 고장 날 수 있습니다.

렌즈 사용하기

렌즈의 부품: 이름 및 기능

이 시트의 왼쪽 가장자리에 있는 그림을 참조하십시오.

① 렌즈 후드 장착 마크	렌즈 후드를 부착할 때 사용합니다.	C 참조
② 줌 링	돌려서 확대하거나 축소합니다. 사용하기 전에 렌즈를 펼쳐야 합니다.	B 참조
③ 초점거리 눈금	렌즈를 줌 인하거나 줌 아웃할 때 대략적인 초점 거리를 결정합니다.	—
④ 초점거리 마크		
⑤ 조절 링	**자동 초점 모드가 선택됨:** 자동 초점 모드에서 카메라를 사용하여 예(M/A) 또는 [조리개]와 같은 설정을 조정하려면 링을 돌리십시오. 자세한 내용은 카메라 설명서의 [사용자 정의 제어 설정/사용자 제어 설정(촬영)] 설명을 참조하십시오. **수동 초점 모드가 선택됨:** 링을 돌려 초점을 맞춥니다.	—
⑥ 렌즈 장착 마크	렌즈를 카메라에 장착할 때 사용합니다.	A 참조
⑦ CPU 접촉부	카메라와 데이터를 주고 받는 데 사용됩니다.	—
⑧ 렌즈 후드*	렌즈 후드는 플레어나 고스트 현상을 초래할 우려가 있는 미광을 차단합니다. 렌즈를 보호하는 역할도 합니다.	C 참조
⑨ 렌즈 후드 잠금 마크	렌즈 후드를 부착할 때 사용합니다.	
⑩ 렌즈 후드 정렬 마크		
⑪ 전면 렌즈 캡	—	—
⑫ 렌즈 뒷 커버	—	—

* 별매.

Ⓐ 부착 및 제거

렌즈 장착

1 **카메라의 전원을 끄고 바디 캡을 제거한 다음 렌즈 뒷 커버를 분리합니다.**

2 **렌즈의 장착 마크와 카메라 본체의 장착 마크가 일치되도록 카메라 본체에서의 렌즈 위치를 조정합니다. 그런 다음 렌즈가 딸깍 소리를 내며 제자리에 들어갈 때까지 시계 반대 방향으로 돌려줍니다.**

렌즈 제거

1 **카메라 전원을 끕니다.**

2 **렌즈 릴리즈 버튼을 계속 누른 상태로 렌즈를 시계 방향으로 돌립니다.**

Ⓑ 사용하기 전에

렌즈는 수납 가능하며 사용하기 전에 렌즈를 펼쳐야 합니다. 렌즈가 펼쳐진 위치에 딱 들어맞을 때까지 그림과 같이 줌 링을 돌려줍니다. 초점거리 마크가 초점거리 눈금 50과 250 사이에 있을 때만 화상을 촬영할 수 있습니다.

렌즈를 수납하려면 줌 링을 반대 방향으로 돌리다가 초점거리 눈금의 (●) 위치에 이르면 멈춥니다.

렌즈를 수납한 상태로 카메라를 켜면 경고 메시지가 표시됩니다. 사용하기 전에 렌즈를 펼쳐줍니다.

이 제품을 사용하기 전에 본 지침을 주의해서 읽으십시오. 카메라 설명서도 참조해야 합니다.

- 이 렌즈는 Nikon Z 마운트 카메라 전용입니다.
- Z 7 또는 Z 6과 함께 이 렌즈를 사용하기 전에 카메라 펌웨어를 최신 버전으로 업데이트하십시오. 그렇지 않으면 카메라가 렌즈를 올바르게 인식하지 못하고 손떨림 보정과 같은 기능을 사용하지 못할 수 있습니다. 최신 펌웨어는 Nikon 다운로드 센터 에서 받을 수 있습니다.

Para retra